



子どもの居場所NUスペース Report 2021

(財) 中本達也・臼井都記念芸術資源館

報告：副館長 山越邦夫

実施概要：8月以後、毎週土曜日と日曜日、延べ57日（2月末現在）

◇共有スペース（キッチン、和室、ウッドデッキ）開放、ウッドデッキ等で制作イベント6回

※2月以後、新型コロナウイルス感染予防対策のため午後のみ

※2月26、27、3月5、6日は追悼展のため中止

利用人数：子ども291人（木曜日、金曜日のチャオ！ベビー来館幼児含む）

◇制作イベント（日曜日）参加児童51人、他にアート教室の生徒や乳幼児

木工作、ピランチェ、ブンブンごま、サッシェ、ハーブリース、ヒンメリ、

ダンボールモンスター、パスタマシン版画、節分鬼飾り、SDGsダンボール椅子 e t c .

スタッフ：地域ボランティア8人で二人ずつのローテーション

地域連携：つちのこ、民生委員、おもちゃ病院、NPOコアラッコ子育てサポート、

産後支援団体cocoCOLOR

子どもの居場所としての課題

利用者の感想：

「家以外で安心していられる場所が出来てよかった」（小4女子）

「工作の日が楽しかった。習い事とちがって自由な感じなのが好き」（小4女子）

「学校ではしっかりしてる娘（小1）が我がまんまに振る舞っていた。

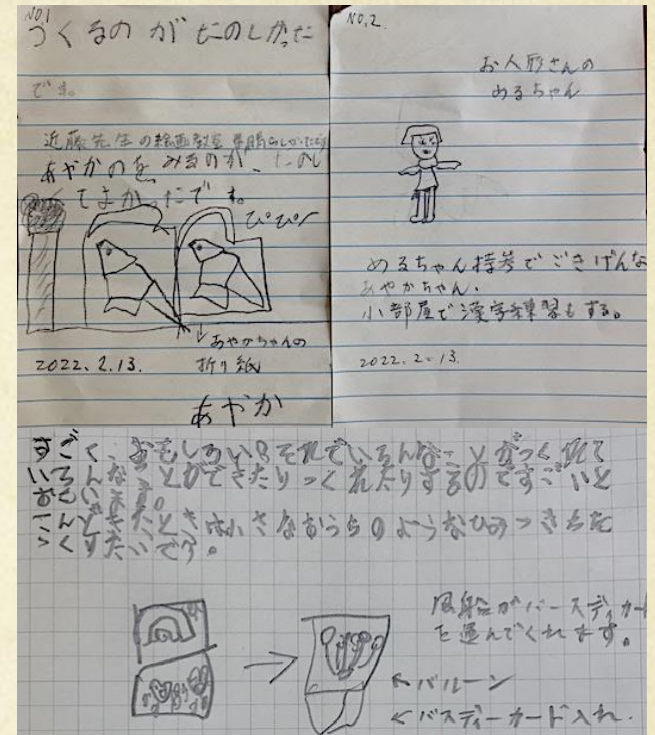
第2のホームができて有り難いです。」（小4児童母）

「心安らぐアートな空間と、暖かな目で見守ってくださる大人たちに囲まれて、

なんて素敵な場だろうと私（母）自身感じております。」（小1児童母）

「日当たりの良い広いお庭もあり、のびのびと創作できる場所。関係者の方

も子供に温かく接してくれて（。。。）また行こうと思える場所です。」



今後へ向けて：

近隣からの騒音苦情⇒元気よく遊べる外イベント（近隣公園や東福社会館）の工夫／連携？

イベント以外の利用促進⇒「何かできる」と「なあんにもしない」パンフ配布（3月1日発行）

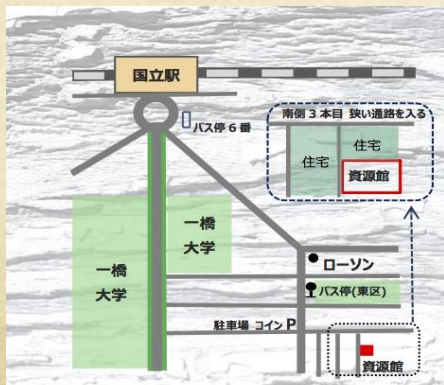
子どもの居場所⇒特化されたニッチ ※多世代交流事業NUスペースの位置付け

子どもの居場所 @芸術資源館

NUスペース (国立市東3丁目)

<2022年度利用案内>

- ✓水曜日から日曜日、午後1時から5時まで
- ✓乳幼児から大人まで利用対象です。
- ✓開館中は、共有スペース（図書、キッチン、ウッドデッキ）で自由に過ごせます。
- ✓飲食可。他の来館者、近隣に迷惑の無いように。
- ✓工作や絵画制作、勉強やおしゃべりに、みんなで共有してお使いください。予約はいりません。
- ✓いつでも、「何かできる」「なあんにもしない」をサポートするスタッフが在中しています。
- ✓月1回工作などのミニイベントを企画します。SNSで確認してください。
- ✓車椅子スロープ、多目的トイレ、授乳スペース、自転車置き場があります。
- ✓第2金曜日は「助産師さんに聞いてみよう」



この先3小



この旗を目印に！



©Amy Iwasaki

住所：国立市東3丁目15-11

電話：070-3898-3425

HP (QR左) <https://www.nu-art.tokyo>

LINE (QR右) <https://lin.ee/94SkFcr>



一般財団法人中本達也・臼井都記念芸術資源館

2022年3月1日発行

イラスト協力：Amy Iwasaki

私たちはいつも「何かできる」「なあんにもしない」を応援します。

* NUスペースは、この地に70年前にアトリエを築いた画家中本達也、臼井都を記念して頭文字をもらいました。



北欧のヒンメリ
を作った！
SDGsダンボール
椅子



↑絵に囲まれて過ごす時間



あれ！入り口がふたつ？秘密の世界へ。



木工作

ダンボール
モンスター

◀想像が膨らむ、色が膨らむ。

ビランチェ



ふんふん
ゴモ

枯葉に寝転んで
空を見た！



節分
鬼飾り

不思議がいっぱい！

リース作り



ガーデンギャラリー（旧国立駅舎材木再利用）
近隣にご配慮いただき、お静かに過ごしてください。



サッシエ

多目的トイレ
◀昭和レトロな和室



ニッポー設備（株）提供

多摩 A F A プロジェクト 「さわる・つくるブラインドアートの世界へ」

- ・アート・フォー・オール：全ての人にアートを
- ・バリアを超えて：目の不自由な人もそうでない人も
アートを通して、新しい世界で出会う
- ・さわる／つくるブラインドアート出前講座
- ・アシスタント養成講座、学校、施設、美術館
- ・違いを認めあうコミュニケーションツール
- ・「さわる」「つくる」アートのバリアフリー
- ・3年計画で国立・国分寺地域から多摩全域へ
- ・開発、研究、普及のための共催、後援団体募集

※ロシア A F A 及び新潟 A F A と連携

